

特集1 新春トップセミナー オンライン

いのち輝く未来社会の実現に向けて ～アバターの果たす役割と大阪パビリオンを考える～



閉会挨拶

Seiju国際知財事務所 弁理士

(一社)生産技術振興協会 アライアンス委員長 北村 光司

石黒先生、森下先生、お忙しい中すばらしいご講演をありがとうございました。関西万博に対する聴講者の皆様の関心にダイレクトに応えていただき、皆様も満足されておられることと存じます。また、更家社長、生駒社長におかれましては、パネルディスカッションを盛り上げていただき、ありがとうございました。

石黒先生のお話されたアバターでの就業や、森下先生のお話されたデータを利用した健康習慣の改善などでは、サイバー空間での相互の意思確認が必要となります。そのため、個人認証の仕組みに関する電子署名、eシール、タイムスタンプなどのトラストサービスが必要ですが、現在は総務省やトラストサービスフォーラム(TSF)が日本におけるトラストサービス基盤の整備、法制化を進めています。経済特区の話もありましたが、トラストサービス基盤が整うことで、サイバー取引の信頼性が向

上し、そういった施策も採用しやすくなるのではないかと予想いたします。トラストサービスについてはeIDASをはじめとする国際的ハーモナイゼーションが進みつつあり、国際的トラスト基盤のもとで関西万博での技術は世界に広まる可能性があります。

また、両先生のご提唱のサービスは、様々な会社やユーザーの意見を取り込むことで、より一層発展することとなります。当協会は、大学の知の社会実装をミッションとして、大学教員の先生方や企業の方々が交流するアライアンス委員会等の場を設けております。ぜひ当協会をご利用いただき、関西万博へ皆様の声を届けていただきますよう、入会をご検討賜れば幸いです。この度は大変有意義なご講演を賜りました石黒先生、森下先生に感謝申し上げますとともに、講演を最後まで拝聴していただいた皆様に御礼申し上げます。